高等学校　保健体育科　授業案

１　薬物乱用と健康

２　本時の目標

　・薬物乱用防止について、社会の取組を調べたり、その取組に自身の考えを加えたりして、今後の在るべき姿について考え、筋道を立てて説明できるようにする。

３　展開　 　　　 ：ねらい　　　　　：学習内容　　　　　　：発問・指示など

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習内容・学習活動 | 〇指導上の留意点　◆評価 |
| 導  入  ３  分 | １　本時のねらいを知る。  薬物乱用防止の在るべき姿について考えよう。  ２　「薬物乱用防止」について振り返る。（スライド１～３）  今まで学んできた薬物乱用防止について知っていることを話し合ってみよう。  ＜予想される反応＞  ・誘いを断れないことから始まる。  ・大麻や覚醒剤などの違法薬物がある。  ・インターネットの普及によって比較的簡単に手に入る環境にある。 | 〇本時の目標を伝え、ねらいを押さえる。  〇ペアワーク、グループワーク等を行い、今まで経験した薬物乱用防止教育を振り返り、知っていることを確認する。  【ICTの活用例】  ・付箋機能等を活用して意見を可視化する。 |
| 展  開  ①  ７  分 | ３　薬物乱用の害を理解する。  （スライド４～14）  ・覚醒剤の乱用により、興奮作用が現れる。死に至る場合もある。  ・大麻の乱用により、記憶や学習機能の低下、知覚の変化などが起こる。 | 〇覚醒剤、麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物乱用の害について確認する。  ○薬物乱用は、脳に与える影響が大きいことを押さえる。 |
| 展  開  ②  20  分 | ４　大麻事犯について考察する。  （スライド15～19）  ・大麻事犯による検挙人員数は若い世代で増えている。  ・始めるきっかけは友人などから誘われて始めることが多いこと、薬物乱用に対する認識の甘さがある。  グラフ「大麻事犯における30歳未満の検挙人員」から考えられることはなんだろう。また、その原因について考えていこう。  ＜予想される反応＞  ・30歳未満の検挙人員が増えている。  ・高校生の検挙人員数が年々増えている。  ・原因としては、SNSなどの普及により誰でも大麻を手に入れやすくなった。  ・悩んでいたり、ストレスを抱えていたりする人が若い世代に多いため。  ５　大麻乱用者の手記を読み、感想を述べる。（スライド20）  大麻乱用者の手記を読んでどのように感じましたか？  ＜予想される反応＞  ・自分が考えている以上に罪の重さがあることに気付いた。  ・自身だけでなく周囲の人にも影響が出てしまうので、薬物を乱用したいとは思わない。  ・薬物を乱用することでやりたいことができなくなってしまう人生になる。 | 〇大麻事犯について「なぜ若い世代での検挙数が増大しているのか」の原因を考えさせることができるようスライドを提示する。  ○検挙人員が増えていることに気付かせる。個人で考えをワークシートにまとめた後、隣や近くの人と意見共有をするように伝える。また、全体にも発表させる。（スライド16）  ○大麻を初めて使用したきっかけは「誘い」が最も多いことに気付かせる。（スライド17）  ○大麻を初めて使用した動機について、好奇心、その場の雰囲気で始めていることに気付かせる。（スライド18）  ○「大麻及び覚醒剤に対する危険（有害）性の認識の比較」のグラフから、薬物乱用に対する認識の甘さがあることに気付かせる。（スライド19）  〇大麻乱用者の手記を取り上げ、乱用者の抱える苦しみを考えさせる。  ○手記の原文は紹介する程度に留める。（スライド20） |
| 展  開  ③  13  分 | ６　薬物乱用を未然に防ぐために行われている取組（対策）を知る。  （スライド21～24）  ・薬物乱用を防ぐ取組として、ポスターなどの啓発活動などの個人への働きかけだけでなく、麻薬探知犬の活動などの社会環境への対策も必要である。  どのような対策で薬物乱用を未然に防ぎますか？  ＜予想される反応＞  ・ポスターだけでなく、著名人を出演させてCMを作成し、多くの人に薬物乱用の危険性を伝えていく。  ・もっと薬物乱用防止教育を推進する。  ・薬物を使用した場合の罪を厳罰化する。 | 〇薬物乱用防止に対して、ポスターなどの啓発活動、麻薬探知犬の活動などがあることについて説明する。  〇個人で調べた内容に自分の考えを加えさせ、３～４人のグループで意見を出し合い、お互いの意見を比較しながら考えをまとめ、発表させる。  【ICTの活用例】  ・１人１台端末を活用するなどして既存の対策を調べる。  ・授業支援システムを使って意見を学級全体で共有する。  ◆【思考・判断・表現】  　薬物乱用の防止について、既存の社会的な取組に自分の考えを加え、今後の在るべき姿について筋道を立てて説明している。（観察・ワークシート） |
| 展  開  ④  ５  分 | ７　医薬品の目的外使用について理解する。  （スライド25～28）  ・医薬品の目的外使用も薬物乱用である。 | 〇医薬品も目的外使用をすれば薬物乱用になることを説明する。  ○薬物依存症患者が乱用する主たる薬物に「市販薬」が増加していることに気付かせる。（スライド26）  ○オーバードーズにより、死に至る可能性があることを伝える。（スライド28） |
| ま  と  め  ２  分 | ８　本時の振り返り、まとめを行う。  （スライド29） | 〇本時で学んだことを振り返る。 |